



公立西知多総合病院だより

第20号(10～12月号)



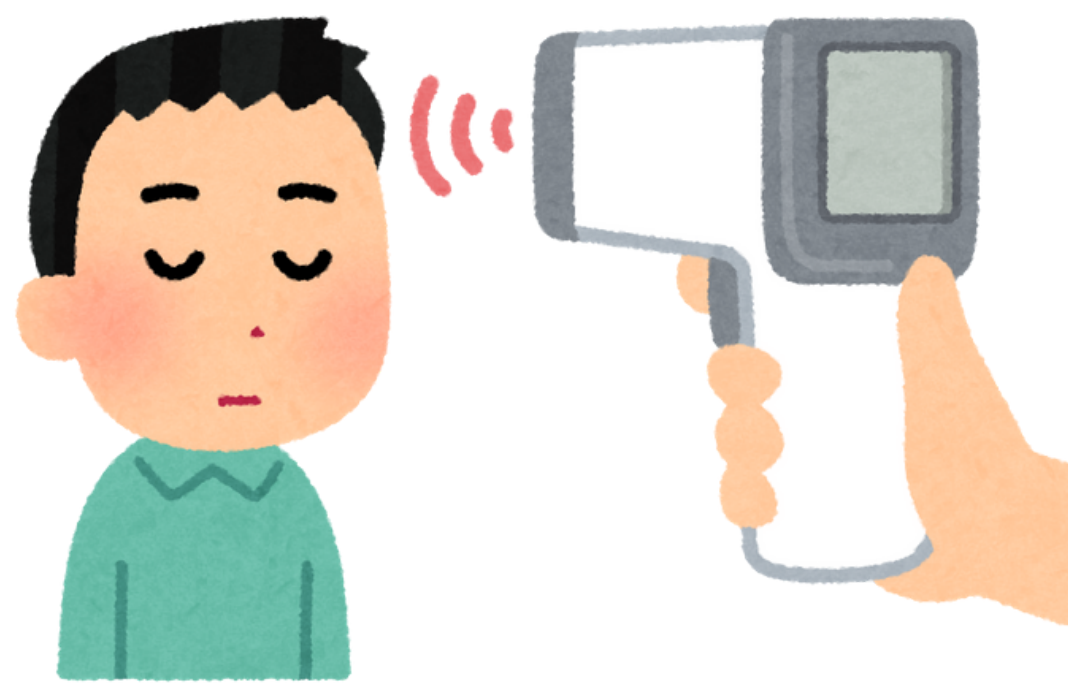
安全管理と感染対策／副院長兼医療品質管理センター長・・・P1

患者サロンルームをご利用下さい／がん専門相談員・・・P2

糖尿病はチーム医療／内分泌・代謝内科主任部長・・・P3, 4

視能訓練士って知っていますか？／視能訓練士・・・P5, 6

安全管理 と 感染対策



副院長兼医療品質管理センター長 牧野 光恭

新型コロナウイルス感染症により甚大な影響を受けられ苦労されてみえる方々に心からの労いを申し上げます。

各地に多大な被害を及ぼした長い梅雨が明けて酷暑の季節となりました。この暑さに加え感染対策も必要であることから、十分な健康管理を行うことに難しさを感じられます。一日も早い感染の収束と延期されましたオリンピックが来年不安なく楽しめることを願っております。

この4月から前田雅彦先生より医療品質管理センター長の任を引き継がせて頂きました。当院の基本方針の第1項に"患者さんの生命と人権を尊重し、安心安全な医療を提供する"と謳われており、その実現に中心的な役割を担う部門と考えております。医療安全管理と感染対策室の2部門からなり、専属の人員を中心に活動しています。

医学の飛躍的な進歩により質の高い医療を受けることが患者さんより求められ、我々医療者も質の高い医療を提供するため日々精進して体制を整えております。しかし個人の努力にも拘らずメディケーションエラーは防げないと考えられており、1999年に米国医学院より"人は誰でも間違える:より安全な医療システムをめざして"という報告がなされました。組織として対策を講じてエラーの起こる確率を少しでも下げることが医療安全管理室に求められる事であります。職員からのレポートをもとに問題点を拾い上げて分析し対策を促す。その過程において提供する医療の質をも向上させることに繋がればと考えております。

コロナ禍におきまして残念ながら第2波と考えられる感染がこの愛知県におきましても広がりを見せております。感染対策室を中心に今年の2月から対策チームを立ち上げ、多職種で様々な対策を講じてきました。院内でのマスクの義務化、面会制限に訪問規制、受付での体温チェック・感染トリアージ、院内設備面での対策・整備、検査体制の見直しなど。職員への注意喚起や教育も行って院内感染の防止を徹底し患者さんの安全確保に繋げております。COVID-19に対する対処法は世界中で検討され診療方針は日々updateされております。最新の知見を参考にしてその時々最善と思われる体制を整備していくことが感染対策室に期待されているものと受け止めております。

このような活動を通じて病院が基本理念にある"質の高い医療を提供する、信頼される病院を目指す"ことに繋げる努力をして参ります。

患者サロンルーム をご利用下さい

がん専門相談員 安部 直子

当院では、昨年8月に患者サロンルームを開設しました。患者サロンルームは、「がん相談支援センター」と、一般図書、医療図書、さらに医療情報を検索できるパソコンを設置した「患者情報ライブラリー」を併設しています。患者さんに安心して治療を受けていただくための「患者相談窓口」「医療安全相談窓口」にもなっています。また、患者サロンルーム内には、外来診察の進行状況が確認できる診察呼び出しモニターを設置しています。

「がん相談支援センター」受付時間 午前8時30分～午後5時15分（病院休診日を除く）

がん患者さんやご家族などから、治療や今後の療養生活の不安など、どのような些細なことでもがんに関わる様々な相談を受け付けています。当院に受診されていない方でもご予約がない方でもご利用いただけます。事前にご予約いただくと、相談内容に応じた専門員が対応させていただきます。また、お電話での相談も受け付けています。

「さくらサロン」 毎月第2金曜日 13時30分～15時

さくらサロンでは、テーマに沿ったミニレクチャーに加え、がん患者さんやご家族ががんについての悩み、体験等を語り合う交流の場を設けています。がんに対する不安や、気持ちの整理ができる場になればと思います。原則事前予約となりますが、当日参加も可能です。

外来等の待ち時間や今後の療養生活の不安のご相談など、お気軽にご利用ください。

▼ サロンルーム



▼ 相談室



糖尿病は チーム医療

内分泌・代謝内科主任部長
加藤 二郎

皆さんが糖尿病で病院にかかられるとしたら、どの職種を思い浮かべられますでしょうか。医師、もちろんそれも大切な役割ですが、看護師さん、管理栄養士さんなどを思い浮かべられる方も多いようです。

当院に来院された糖尿病患者さんには、医師を初めとして看護師、管理栄養士、薬剤師、検査技師等が連携して診療に携わり、患者さんの問題点を洗い出し、適切な解決策を提案致します。

各専門職種の得意分野を統合して診療に当たることを、「チーム医療」と呼んでいます。糖尿病に限らず様々な病気でチーム医療が実践されています。今回は糖尿病のチーム医療について、各職種の役割や連携などをお話したいと思います。

我々は、職種により勤務体系、知識、持てる技量が異なります。異なる職種が共働するため全体として力を発揮できるのですが、お互いに立場が違うこともあります。そんな際は、相手に対するリスペクト、相手の気持ちになることが大切だと思います。

また、それは患者さんの気持ちや立場を理解することにもつながり糖尿病医療に携わる者として必須の資質と考えています。

それでは、糖尿病医療に携わる主な職種の役割を順番に紹介していきます。

◎ 看護師 ◎

患者さんの療養指導を行います。具体的には生活の見直し、改善点や目標の立案など患者さんの生活に密着したケアを目指しています。必要な方にはフットケアや、インスリン注射の指導を行います。また、糖尿病療養の入り口として、患者さんと医師や他職種との橋渡し役にもなります

◎ 管理栄養士 ◎

患者さんの生活状況や食事状況を把握し、それぞれの問題点を見つけ出して糖尿病の改善へ向けた策を一緒に考えます。時に優しく、時に厳しく、人生においてとても大切な「食」についてサポートします。



◎ 薬剤師 ◎

処方された薬の正しい使い方を説明し、その後の服薬状況までをケアします。副作用が出ていないかの確認もします。

ときには薬の選択について医師に相談されたり、進言することもあります。医師とのダブルチェックで薬の安全性を担保します。

◎ 検査技師 ◎

様々な検査を行います。採血やエコー、心電図検査、血糖測定器の貸し出しでお会いすることが多いです。検査結果をわかりやすく説明するよう心がけています。

◎ 医師 ◎

各職種から得られた情報を統合し、糖尿病悪化の原因を推定、治療方針を決定し、治療に関しての責任を負います。リーダーシップが必要になることもありますが、基本的には対等なチームの一員と考えています。

医師に対して言いにくいことや、言い忘れがあっても他のスタッフにお伝えいただければ、チームの力でよい解決策を提案致しますのでご安心ください。

当院では糖尿病専門医、糖尿病療養指導士が多数在籍し、協力して治療に当たっています。

毎年学会に発表、聴講に出かけ、最新の知識を得るとともにチームの絆を新たにしています。

健康診断で糖尿病を指摘された方、糖尿病でお悩みの方は安心して当院にご相談ください。



視能訓練士って 知っていますか？

診療支援科 視能訓練士 鈴木 尚良



私たち視能訓練士は、小児の弱視や斜視の視能矯正や視機能の検査をおこなう国家資格を持つ医療技術者で、当院では現在3名在籍しています。

眼科で医師の指示のもとに視能検査を行うと共に、斜視や弱視の訓練治療をおこなっています。

視能訓練士の業務内容

1. 眼科一般検査（眼科診療に係わる視機能検査全般）

人間の眼は、とても複雑で大切な器官であるため、多くの検査があります。視力検査、遠視、近視、乱視といったような屈折検査、眼鏡やコンタクトレンズの処方に関する検査、視野検査や、眼の奥の写真や組織の断層を撮影する画像診断検査、正確な手術をおこなうための手術前の検査など様々な眼科一般検査及び精密な特殊検査も担当しています。医師の診断や治療に必要な的確なデータを提供し、眼科医療をサポートしています。

視力検査、屈折検査、眼圧検査、視野検査、眼底・前眼部の写真撮影および解析
角膜形状検査、電気生理検査、超音波検査など

2. 視能矯正（斜視、弱視などの訓練指導）

視覚の発達する年齢は限られています。お答えを引き出すのが難しい低年齢の小児の視機能検査をおこない、弱視や斜視に対しての視力向上や正常な両眼視機能の獲得を目的とした視能訓練をおこないます。

両眼視能検査、眼筋機能検査、斜視訓練、弱視訓練、精密屈折検査など

3. 検診業務（集団検診視機能スクリーニング）

母子保健センター等で実施される3歳児検診における視覚検査や成人も生活習慣病検診等の参加があります。しかし当院ではまだ参加できておらず今後参加していきたいと考えています。

3歳児健康診査、就学時健康診査、生活習慣病検診など

4.ロービジョンケア（視力低下者のリハビリ指導）

眼疾患や外傷などのより視機能が低下した状態となったロービジョンの見えにくさを様々な方法で補い生活の質の改善を支援します。視機能検査だけではなくロービジョンによる日常生活、学業や仕事の継続などへの影響を聞き取り、一人一人に合わせた光学的補助具（拡大鏡、遮光眼鏡等）を選定、見え方を補う様々な工夫、視覚リハビリテーション施設との連携などのアドバイスを行います。乳幼児から成人、高齢者と幅広い年齢層を対象としています。

拡大鏡、拡大読書器、単眼鏡、遮光眼鏡の選定、日常生活常の工夫や支援機関の紹介など

人間の一生にかかわる「目」の健康管理。私たち視能訓練士は、眼科領域における専門技術者として、乳幼児からお年寄りまで世代を超えて、皆様の大切な目の健康を守るお手伝いをしています。正確な検査結果を求め、より良い眼科診療を目指しています。

参考文書：日本視能訓練士協会HP





新型コロナウイルス感染症対応に 係るマスク等ご寄付へのお礼



新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、複数の企業・団体・個人様から当院へマスク等のご寄付をいただきました。当院へのご配慮をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。ご寄付いただいたものにつきましては、当院にて有効活用させていただきます。これからも安心・安全な医療を提供できるよう努めてまいります。よろしくお願い申し上げます。

- | | |
|-----------------------|--|
| ・ビジネスフロンティア協同組合 様 | ・株式会社伊藤園名古屋南支店 様 |
| ・株式会社茨木金属商会 様 | ・株式会社大林組 名古屋支店 様 |
| ・コストコホールセールジャパン株式会社 様 | ・株式会社平安閣 様 |
| ・ケーキハウスアベニール 様 | ・医療法人敬心会 じんの歯科こども歯科 様 |
| ・パティスリー セリュリエ 様 | ・コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
中部日本営業本部愛知ベンディング営業部 様 |
| ・お菓子のマリエ 様 | ・ベストリンクインターナショナル株式会社 様 |
| ・ラ パレット 様 | ・一般財団法人東海青年会議所 様 |
| ・ラ パティスリー シュシュ 様 | ・コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
ベンディング瑞穂支店半田セールスセンター 様 |
| ・株式会社セブンイレブン 様 | ・個人12名 様 |
| ・愛知県日本中国友好協会 様 | |
| ・焼肉 水谷 様 | |
| ・株式会社ロコマルシェ 様 | |

(順不同)

～ 基本理念 ～

私たちは、知多半島医療圏の北西部地域における中核病院としての使命を果たすため、次のとおり基本理念を定めます。

- 1 地域の皆さんとともに育む、心のこもったあたたかい病院を目指します。
- 2 質の高い医療を提供する、信頼される病院を目指します。
- 3 地域医療の担い手として、安心して暮らせるまちづくりに貢献します

～ 基本方針 ～

- 1 患者さんの生命と人権を尊重し、安心安全な医療を提供します。
- 2 地域の基幹病院として、救急医療と急性期医療の充実に努めます。
- 3 地域の医療機関や保健・福祉機関と連携し、地域住民の健康増進を図ります。
- 4 教育と研修により、医療技術の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます。
- 5 職員がやりがいを持ち、安心して働くことができる環境を整えます。
- 6 健全な病院経営に努めます。



公立西知多総合病院だより 第20号

2020年10月発行 編集：広報図書委員会 発行：公立西知多総合病院